

令和8年度 知立南中学校の教育

1 教育目標

(1) 本校の教育目標

校訓「志学 共励 友愛」を基盤にして、めざす生徒像を次のように定め、心身ともに健康で明るく、豊かな感性や知性、実践力をもった生徒を育成する。

- 本気で学ぶ生徒（知）… 自分の夢や目標にむかい、課題を見だし自ら解決する姿
- 豊かな心を持つ生徒（徳）… 多様な個性や考えを認め共感し、自己有用感あふれた姿
- 心と体を鍛えるたくましい生徒（体）… 自らの心と体を理解し、夢や目標をあきらめない姿

(2) 経営方針

- ア 地域とともに、職員と生徒の創意と工夫による主体的な学校づくり
- イ 学び続ける力と問題を解決する資質や能力の向上をめざした授業づくり
- ウ 多様性や共生を生かした人権教育、道徳教育、豊かな心の育成
- エ たくましく生きるための心身の健康、体力の向上

(3) 令和8年度の重点努力目標

ア 学び続ける力を育む教育

- ・生徒の主体的な学びの中で、個を生かした誰もがわかる楽しい授業をめざし、基礎的・基本的な学力の定着をはかるとともに、活用力やコミュニケーション能力、課題を見だし解決する資質や能力の向上に努める。
- ・ICT機器を十分に有効活用した個別最適な学びの実現や学びの多様性をめざし、少人数指導授業の指導体制の充実、学習方法・学習形態や教材の工夫に取り組む。
- ・外国人生徒の日本語指導を充実させるため、個の習熟度を的確に把握した上で、多文化共生を生かした指導体制と指導方法の工夫を図る。

イ 豊かな人間性を育む教育

- ・あいさつ、時間、身なり等の基本的な生活習慣が身に付いた、互いに気持ちよく過ごすことのできる雰囲気の学校をつくる。
- ・キャリア教育や道徳教育・人権教育を総合的に見直し、多様な個性、文化、社会を大切にする教育を推進し、自己肯定感や他者理解を深め、自他の命を大切にする態度を育てる。

ウ 健康や体力を育む教育

- ・地域や家庭と連携し、生徒が自分自身の心や体について客観的に把握できる指導を心がけ、自分の心身の健康や体力の向上に意欲をもてるよう努める。

エ きめ細かな指導の充実 (校内教育支援センターの効果的な運用)

- ・個々の生徒の教育的ニーズを的確に把握し、外国人生徒への日本語指導、特別な支援を必要とする生徒への指導、教室に入れない生徒や不登校生徒への対応と支援の充実を図る。
- ・いじめや不登校等の早期発見と迅速な対応、適切な指導に努める。

オ 学校・家庭・地域との連携の推進 (コミュニティ・スクールの推進)

- ・地域と協働のもと学区にある小学校とも連携しながら、外部指導者や外部ボランティアを積極的に活用したり生徒が地域に働きかけたりしながら、地域を愛する自主的・実践的な態度の育成を図る。
- ・地域とともに、防災・防犯教育の充実と実践的な安全教育を推進し、「自助」から「共助」の意識を高め、さらには「公助」の理解を深める。

カ 教職員の資質向上と働き方改革の推進 (日課の改革とプロジェクト会の充実)

- ・現職研修の充実を図るとともに、生徒理解や授業力などの自己の研究課題を実践する。教職員の心身の健康を保持するため、学校業務の見直しと改善や職員の意識改革に取り組む。また、短い時間や負担の少ないやり方で教育的効果を生みだせるように、教職員が創意工夫しアイデアを出し合い実践する。各職員の能力を生かした職務分担に心がけ、チームで支援をしながら資質向上を図る。